ポータブルDVDプレーヤー
取扱説明書

ご使用前に本説明書をご一読ください

C-MEX

■セントレードM.E.株式会社

〒110-0016　東京都台東区台東1丁目24番9号

【カスタマーサポートセンター】　http://www.c-mex.co.jp/

受付時間 9:30〜12:30,13:30〜17:30（土・日・祝日・弊社休日を除く）

TEL：(03) 3834-3631　FAX：(03) 5688-1578

お問い合わせはカスタマーサポートセンターでのみ受け付けております。

【AVOX技術センター】（点検・修理製品の送り先）

〒120-0034　東京都足立区千住1丁目3番6号　TOCビル2階

TEL：(03) 3879-4445　FAX：(03) 3879-4443

安全に関するご注意

はじめにお読みください

1. デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。これには製品本体の仕様およびソフトウェア、ソフトウェアドライバ、ユーザーマニュアルが含まれます。このユーザーマニュアルには本製品についての概要が記載されています。
2. 本ユーザーマニュアルに誤りや矛盾があった場合について、製造者は何ら責任を負いません。
3. ドライバのアップデートや本マニュアルの改版については、当社ウェブサイトをご覧ください。
   http://www.c-mex.co.jp/
4. 本マニュアルに記載のイラストは機能などの説明を目的としていますので、実際の製品とは異なる場合があります。
5. 本製品は、ご家庭での使用を目的として製造されております。それ以外での使用は、保証の対象外となります。

事前注意

プレーヤーをご利用になる前に、ここに記述した注意内容をご確認ください。

電源コードの保護

本体が故障しないように、また感電、火災、人体への影響を防ぐために以下のことに注意してください。

・AC電源コードを接続したり、はずしたりするときはプラグをしっかり持って行なってください。
・AC電源コードは熱器具のそばに置かないでください。
・AC電源コードの上に重いものを置かないでください。
・AC電源コードを修理したり、改造したりしないでください。

保管

以下のような場所には保管しないでください。
・直射日光の当る場所、放熱器のそば、または密閉された自動車
・35℃以上の高温または90％以上の高湿な場所

使用しない間

・本体の電源をOFFにします。長時間使用しない場合は、家庭のACコンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

指の挿入または異物混入

・危険ですので本体の内部部品には触れないでください。内部部品に触ると致命的な損傷を与える可能性があります。また、本体を分解しないでください。
・ディスクトレイにディスク以外のもの置かないでください。

水や磁石のそばに置かないでください

・花瓶、浴槽、流し台などのそばで使用しないでください。液体を本体の中にこぼすと、致命的な損傷を与えます。
・本体のそばに磁石や磁化したものを置かないでください。

積み重ね

・本体を水平な場所に置いてください。また、本体の上に重いものを置かないでください。

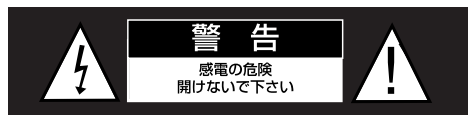
考慮すべき事項

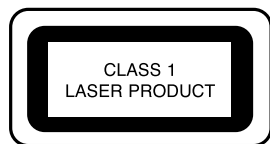
以下のような条件では、レンズが曇る可能性があります。
・ヒーターの電源をONにしたすぐ後
・湯気の立ち込める部屋または湿度の高い部屋
・本体が寒い環境から暖かい環境に突然移されたとき
本体内部に湿気が発生すると適切に動作しなくなる可能性があります。その場合、電源をオフにして湿気が乾くまで1時間ぐらいそのままにしておいてください。

テレビ画像に雑音障害が発生している場合

・テレビの受信状態によりますが、テレビ番組を観ているときや本体の電源をつけたままにしているとテレビ画像が乱れることがあります。

製品をひざの上など肌に直接触れる様な場所でご使用の場合

・低温やけどの恐れがございますので、直接肌に触れない様ご注意下さい。

この三角形に光る矢印の表示は、本製品が「危険な電圧」にまで達し、感電の危険が想定されることを示しています。

この三角形に感嘆詞の表示は本体の重要な操作とメンテナンス（修理）の指示があることを示しています。

この製品はFCCルールの第15部に準じています。操作は次の二つを条件としています。
（1）この製品は障害が発生しないと想定される
（2）この製品は受信障害が発生する可能性がある。それによって好ましくない操作が発生する場合も含まれる。

警告：火事や感電の危険が高いため、雨または湿気に本体をさらさないでください。また、キャビネットの内部は危険な高電圧なので、サービス員以外の方は絶対に開けないでください。

注意：再生中、ディスクは高速で回転しているため、絶対に本体を持ち上げたり、動かしたりしないでください。ディスクに損傷を与える可能性があります。

注意：このDVDプレーヤーはレーザーシステムを採用しています。プレーヤーのふたを開ける前にシャットダウンされているか確認してください。開いていたり、インターロックが破損している場合、レーザー光が見えます。ここに書かれている以外の方法でコントロールや付属品を使ったり、処置を行うと危険な放射線が漏れる可能性があります。

バッテリーに関する警告：

このDVDプレーヤーはLiポリマーバッテリーを採用しています。バッテリーの取り扱いを誤ると火災や火傷の危険があります。絶対に分解、粉砕、破裂、充電不足状態での外部への接続または火や水に近づけないで下さい。バッテリーパックを開けたり、修理しないでください。バッテリー交換の際には必ず同じ種類のバッテリーをご使用ください。古くなったバッテリーはメーカーの説明に従って処分してください。

1. 本書を必ず一読してください。
2. 本書を保管しておいてください。
3. 全ての警告について留意してください。
4. 本書の注意事項を厳守してください。
5. 水のそばで本機器を使用しないでください。
6. 湿った布で本体を掃除してください。
7. 換気口を塞がないでください。メーカーの指示にしたがって設置してください。
8. 放熱体、ヒートレジスター、ストーブ、その他熱を発する機器（アンプを含む）のような熱源の近くに設置しないでください。
9. 電源コードを踏んだり、プラグ、コンセントおよび機器から出た部分が折れ曲がらないようにしてください。
10. メーカーが推奨した添付品／付属品以外を使用しないでください。
11. メーカーが推奨した荷台、台、三脚、張り出し棚、テーブル、または機器と一緒に販売されたもののみ使用してください。荷台を使用する場合、荷台に機器をのせて移動するときひっくり返って怪我をしないように注意を払ってください。
12. 雷雨時や長時間使用しない場合は、機器の電源プラグをはずしてください。

13. 全てのサービスについてのご質問は、正規のサービス員に問い合わせてください。電源コードやプラグが破損したとき、液体がこぼれたとき、機器の上に何か物体が落ちたとき、機器が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき、機器を落としたときなどにサービスをご利用ください。
14. 直射日光の当たる場所や密閉された車中など、高温になる場所に本製品を置かないでください。高温にさらされると、ケースやその中身に悪影響を与えるだけでなく、発火を招く恐れもあります。
15. 内部が加熱され、ケースがゆがんだり、発火を招く恐れがありますので、布やキルトをかぶせたり、包んだりしないでください。本製品およびアクセサリは常に通気性のよい環境で使用してください。
16. 本製品は注意深く扱い、衝撃や振動を与えないでください。乱暴な扱いは故障の原因となります。

FCCおよび安全性に関するご注意

FCC：（Federal Communications Commision：連邦通信委員会）

警告：本体にはレーザーシステムが搭載されています。レーザー光は眼に損傷を与える可能性があるため、正規のサービス員以外の人がカバーをはずしたり、機器の修理を行なわないでください。また、本機器のサービスは、正規のサービス員のみが行なってください。本書で説明した手順以外の方法で制御、調整、操作したりすると危険な放射にさらされる可能性があります。

注意：本装置はFCC規則第15条に準拠しています。本装置の操作にあたっては、次の2つの条件を前提とします。
（1）本装置は、有害な電波干渉の原因となってはならない。
（2）本装置は、予想外の動作の原因となる干渉を含めたあらゆる干渉を受容しなければならない。

注：本装置は、FCC規則第15条に基づくクラスBデジタル機器の範囲内であることが検査により証明されています。この範囲は、住宅地域への設置にあたり、有害な電波障害を防止する目的で設定されています。本装置は高周波エネルギーを生成、使用、放射するため、本書に従って設置および使用しないと、無線通信における電波障害を引き起こすおそれがあります。しかしながら、これは特定の設置方法により、電波障害が発生しないことを保証するものではありません。本装置が無線やテレビの受信障害を起こしているかどうかは、本装置の電源のオンとオフを切り替えることで判断できます。電波障害が発生する場合、次の対処方法を試してみることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 本装置とレシーバをできるだけ離れた位置に配置する。
- 本装置とレシーバの電源を、それぞれ別のコンセントに接続する。
- ディーラ、あるいは経験のある無線やテレビ技術者に問い合わせる。

本装置をFCC規則第15条のBの範囲に適合させるためには、シールドケーブルを使用する必要があります。マニュアルに特に記載のない限り、本装置の改造や修理を行わないでください。そのような改造や修理がなされた場合は、本装置のご使用を中止ください。

バッテリーに関する警告：
このDVDプレーヤーはLiポリマーバッテリーを採用しています。バッテリーの取り扱いを誤ると火災や火傷の危険があります。絶対に分解、粉砕、破裂、充電不足状態での外部への接続または火や水に近づけないで下さい。バッテリーパックを開けたり、修理しないでください。バッテリー交換の際には必ず同じ種類のバッテリーをご使用ください。古くなったバッテリーはメーカーの説明に従って処分してください。

・DVD±R、DVD±RW、CD-ROM、VIDEO CD、SVCD、CD-R/RW、に対応。
・コンパクトでスリム設計。
・最新のデジタルオーディオ／ビデオ（AV）テクノロジー対応。音声や映像の鑑賞が最大限に楽しめる。

・WMA対応。
・ペアレンタルコントロール（子供がふさわしくない内容を見ないための機能）対応。
・Kodakピクチャー CDとの互換性（テレビで写真を見ることができる機能）対応。

最初にポータブルDVDプレーヤーの箱の中身をご確認ください。

ポータブルDVDプレーヤー	1
オーディオケーブル	1本
Y／Pb／Prケーブル	1本
ビデオ＆同軸音声ケーブル	1本
リチウムポリマーバッテリーパック	1
リモコン（リモコン用電池）	1
AC電源アダプター	1
電源コード	1
12V専用カー電源アダプター	1
取扱説明書	1
イヤホン	1
保証書	1

万一、添付品が足りなかったり、破損していた場合は、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。

プレーヤーを移送する際に使う可能性もありますので、梱包材は保管してください。

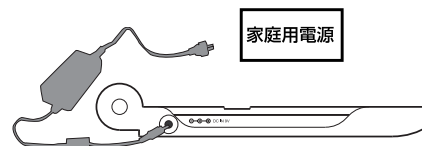
警告：本製品の分解・改造を禁止します。分解・改造した場合、一切の保証は無効となります。

目次

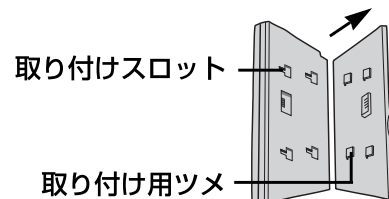
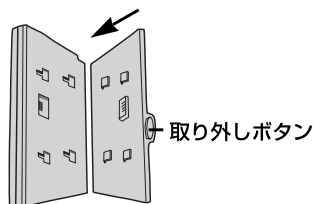
クイックスタートガイド

プレーヤー電源の供給

２つの方法でプレーヤーに電源を供給することができます。

a. 付属品の電源アダプターを使用する方法

プレーヤーにバッテリーが装着されている場合、バッテリーのDC INにアダプタを接続します。プレーヤーに電源供給しながらバッテリーも充電されます。

b. バッテリーパックを使用する方法

(1) プレーヤーの底面にある４つのスロットに４つの取り付け用ラグを合わせます。
(2) バッテリーパックがカッチと固定されるまで前方に引きます。

バッテリーパックを取り外すには、プレーヤーの側面にあるボタンを押しながら、バッテリーパックが外れるまで後方に引きます。

DVD再生にあたって

1. ディスプレイが見えるまでプレーヤーのディスプレイを開く

2. 左側にあるオープン／押すボタンを押して、カバーを開ける

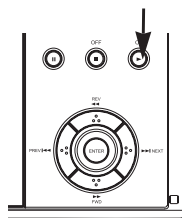
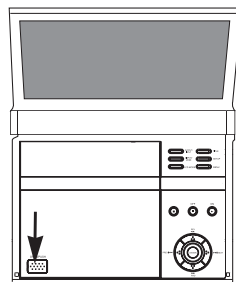
3. ディスクコンパートメントにある保護用プラスチックタブを取り去る

長期間使用しない場合はレーザー部を保護するために、再度そのタブを装着しておくことをお勧めします。

4. DVDディスクを入れる

ディスクガイドの中央にDVDディスクの中央を合わせ、DVDディスクをやさしく押し込み、カバーを閉じます。

5. 入ボタンを押す

電源が入ります。

6. 再生ボタンを押す（再生を開始する）

通常、電源が入るとプレーヤーに入っているDVDディスクを自動的に読み込みます。DVDプレーヤーはDVDプログラムを直ちに再生します。

7. 停止したいとき

停止ボタンを押します。AVOXロゴ画面に戻ります。本体の電源を切るにはOFFスイッチを2秒以上押します。

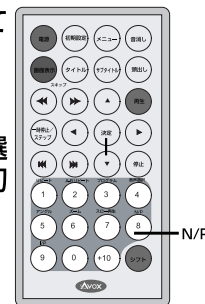
8. 本体のリセット

DVDプレーヤーは、スクリーンセーバーモードになった後、3分経つと自動的に電源をOFFにします。本体をリセットするには、最初に切ボタンを3秒間押し続け、電源をOFFにして、再度電源をONにします。

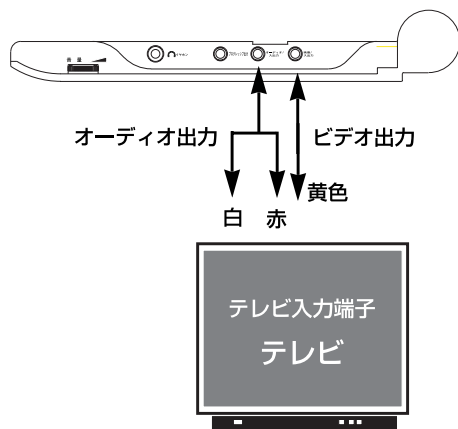
テレビに接続する場合

プレーヤーを使用しているテレビ方式に合わせます。

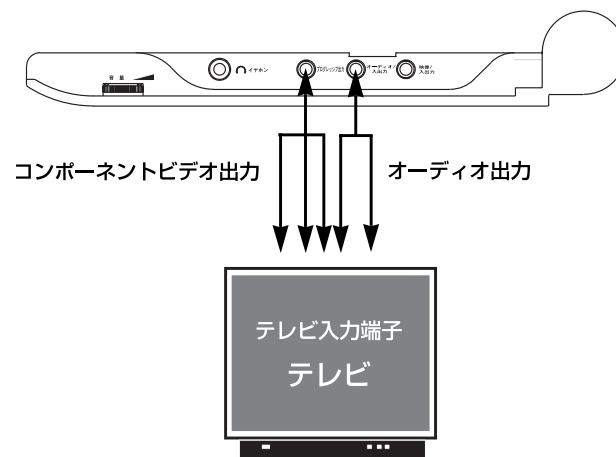
・NTSC：日本や北米などで使用されています。
・ＰＡＬ：ヨーロッパで使用されています。

N／Pボタンを使用して、テレビ方式を選択します。押すたびにNTSC／PALに切り替わります。

プレーヤーのセットアップ

ステップ１：オーディオケーブルをDVDプレーヤーの音声入出力端子に接続します。
ステップ２：黄色いケーブルをプレーヤーの側面にある映像入出力端子に接続します。

通常のセットアップ

プログレッシブスキャンに対応しているテレビを使用されている場合は、次項の「プログレッシブ対応のセットアップ」の図のような接続を行います。

テレビとの接続

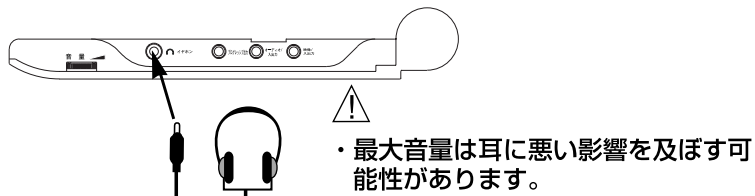
プログレッシブ対応のセットアップ

コンポーネントビデオ入力を装備し、プログレッシブスキャンに対応したテレビを使用している場合は、プレーヤーをＹビデオ端子、Prビデオ端子、Pbビデオ端子に接続します。
リモコン上のI／Ｐボタンを押して、プログレッシブスキャンとインタレーススキャンを切り替えることができま

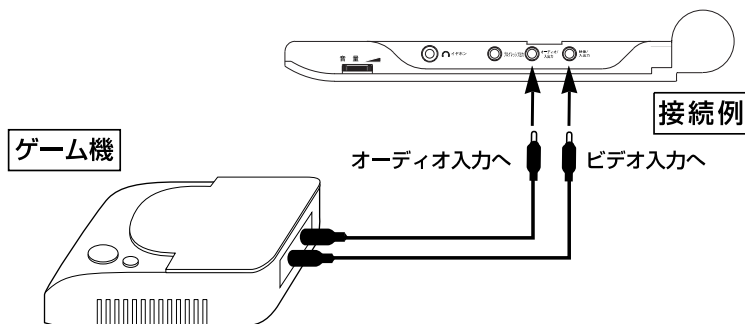
・接続を行う前に、プレーヤーとテレビの電源をOFFにして、電源プラグをはずします
・プレーヤーが出力モードになっていることを確認します。画面上の入力／出力ボタンを使用して切り替えます。
・テレビの接続端子の説明はテレビの取扱説明書をご覧下さい。

※画面を確認できない場合は入力／出力ボタンを一度押して下さい。

イヤホンの接続

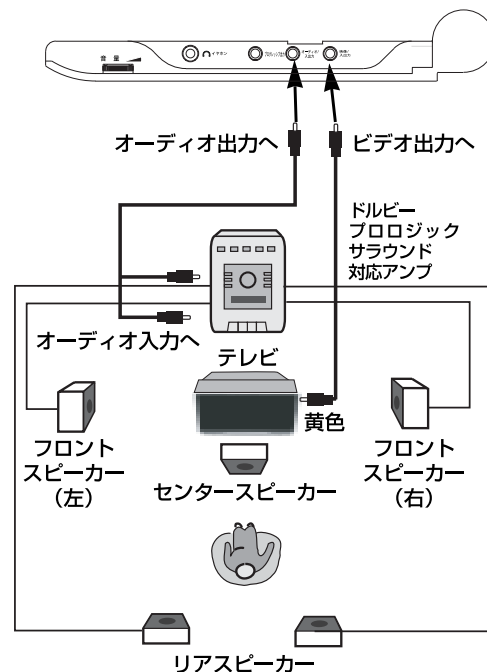
1. イヤホンを接続します。
   3.5mmのステレオプラグ付きのイヤホンを利用できます。
2. ダイアルをまわして音量を調整してください。

・最大音量は耳に悪い影響を及ぼす可能性があります。

ゲームを楽しむ

本機は、ゲーム機と接続して楽しむことが可能です。

※ ゲーム機本体、及び必要なケーブル類は別途（別売）必要となります。

オプション機器への接続

ドルビープロロジックサラウンドサウンドを楽しむ

アンプとスピーカーシステム（左右のフロントスピーカー、センタースピーカー、リアスピーカー）を接続してダイナミックでリアリスティックなドルビープロロジックサラウンドを楽しめます。

※ドルビープロロジックサラウンドをお楽しみ頂くには、それに対応したアンプが必要になります。

本製品の技術著作権はマクロビジョンコーポレーションと他の権利保有者によって保有され、米国の特許資格と知的所有権により保護されています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションによる認可が必要です。そして、その使用はマクロビジョンコーポレーションの認可がある場合を除いて、家庭やそれ以外での限られた鑑賞にのみ認められています。改造や分解は禁じられています。

許可なく本書を複製したり、放送したり、公の場で上映したり、著作権のあるマニュアルを借りたりすることは法律で禁じられています。DVDビデオディスクは複製保護されており、複製されると映像や音声が乱れます。

ドルビーラボラトリーの承認の元に製造されており、「Dolby」とダブルDシンボルはドルビーラボラトリーの商標です。機密未公表製品。

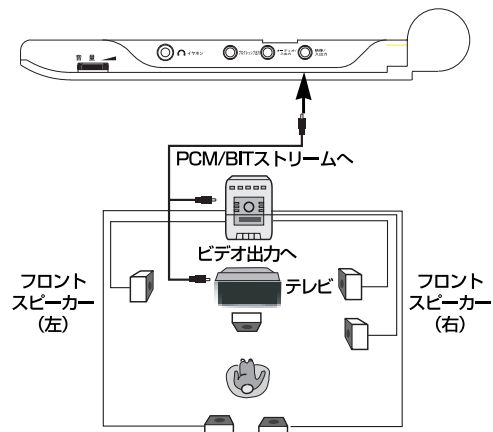
「DTS」と「DTSDigital Out」はデジタルシアターシステム社の商標です。

⚠

・スピーカーの損傷を防ぐために適度な音量にしてください。
・DVDプレーヤーを接続するとき、または接続をやめるときはスピーカーの損傷を防ぐためにアンプの電源を切ってください。

ドルビーデジタルまたはDTSを楽しむ

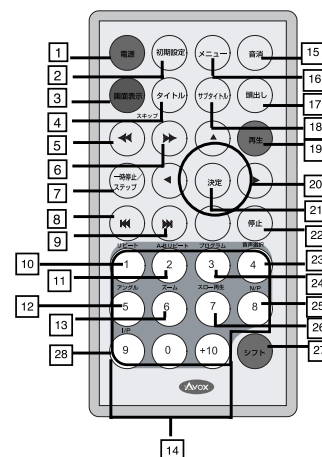
ドルビーデジタル／ DTS

ドルビーデジタルとDTSプログラムは５つの全音域チャンネルと六番目の低音用サブスピーカーを使ってサラウンドサウンドを提供します。ドルビーデジタルシステムでDVDを楽しめます。必要な準備はDVDプレーヤーとドルビーデジタル／DTSレシーバーまたは外部デコーダー付ドルビーデジタルレディーレシーバーを接続するだけです。

設定メニューから「初期設定」のなかの「SPDIF出力設定」を「SPDIF／PCM」に設定してください。

再生のための基本操作

1. 入力／出力ボタン
2. タイトルボタン
3. 画面モードボタン
4. 初期設定ボタン
5. LCDモードボタン
6. メニューボタン
7. 一時停止
8. 切（結合機能）
   a. 電源OFF
      長押し（2秒以上）
   b. 再生停止
9. 入（結合機能）
   a. 電源ON
   b. 再生
10. 矢印ボタン上／下
    （巻き戻し／早送り）
11. 決定
12. 矢印ボタン左／右
    （前スキップ／次スキップ）
13. オープン／押す
    （ディスクカバーを開けます）

リモコン

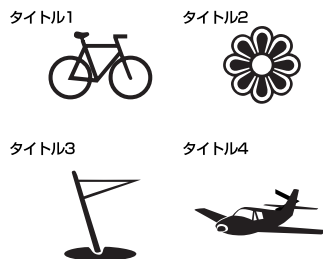
1. 電源
2. 初期設定
3. 画面表示
4. タイトル
5. 巻き戻し
6. 早送り
7. 一時停止／スキップ
8. 前へ
9. 次へ
10. リピート
11. A-Bリピート
12. アングル
13. ズーム
14. ナンバー
15. 音消
16. メニュー
17. 頭出し
18. サブタイトル
19. 再生
20. 決定
    （▲／▼／◀／▶）
23. 音声選択
24. プログラム
25. N/P* (NTSC/PAL)
26. スロー再生
27. シフト
28. I/P*
    （インタレース／プログレッシブ）

注意：リピート、A-Bリピート、プログラム 、音声選択、アングル、ズーム、スロー再生、N/P、I/Pキーを使用する場合はシフトボタンを押してシフトをON状態にします。数字ボタンを使用する場合再度シフトボタンを押し、シフトOFFにします。

注意 ：*NTSC/PAL：このスイッチにより再生方式をNTSCまたはPALに切り替えることができます。日本ではNTSCは標準規格です。

*I/P：I/Pはインタレーススキャン／プログレッシブスキャンという意味です

メニュー画面から再生するには

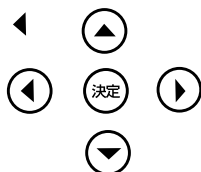
**1. タイトル／メニューを押して
メニュー画面を表示する**

タイトル1　　タイトル2

2. ▲／▼／◀／▶ または番号ボタンを押してタイトルを選択する

タイトル3　　タイトル4

3. 決定または再生ボタンを押す

DVDビデオプレーヤーは選択されたタイトルから再生をはじめます。

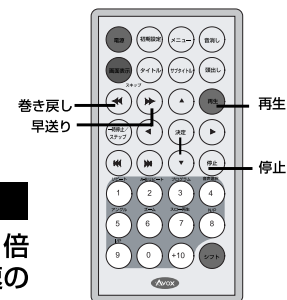
注：選択したタイトル番号を直接指定して入力することもできます

一時停止するには

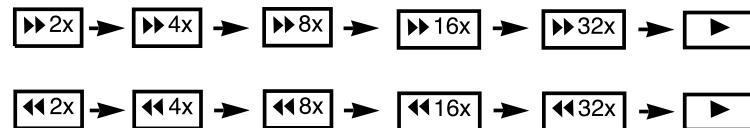
再生中に一時停止／ステップを一度押す。再生中に繰り返して一時停止／ステップを押すと一度につき1フレーム前に進む。再生ボタンを押すとノーマル再生に戻る。

ステップ再生中は消音になります。MP3CD、オーディオCD、ピクチャーCDにはステップ機能はありません。

一時停止／ステップ

再生を停止するには

停止ボタンを押す
プレーヤーは停止します。

高速早送りと巻き戻し

ディスク再生ではノーマル再生の2倍速、4倍速、8倍速、16倍速、32倍速の高速早送りと巻き戻しができます。

再生中に巻き戻しまたは早送りボタンを押すと、再生スピードはノーマル再生の2倍の速さになります。巻き戻しまたは早送りボタンを押すごとに再生スピードは変わります。

> ノーマル再生に戻るときは再生ボタンを押してください。
>
> 再生

注：この機能が使えないDVDディスクもあります。

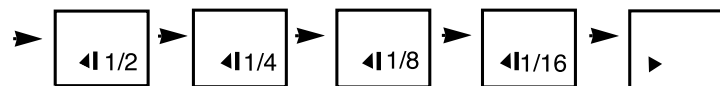
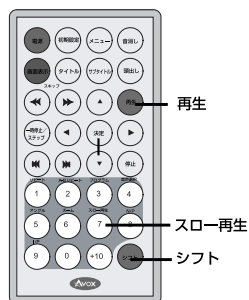
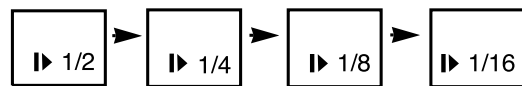
スロー再生

ディスクをスロー再生できます。

1. スロー再生ボタンを使うためにシフトを押してシフトオンにする

再生
スロー再生
シフト

テレビ画面

1/2
1/4
1/8
1/16

2. 再生中にスロー再生ボタンを押す
再生スピードはスロー再生ボタンを押すごとに、ノーマルスピードの１／2、１／4、１／8、１／16と変わります。

ノーマル再生に戻るときは再生ボタンを押してください。

・巻き戻し、早送り、スロー再生ボタンで再生中は、消音になります。
・この機能が使えないDVDディスクもあります。

ノーマル

Kodak ピクチャーCD が読み込まれると自動的にスライドショーがはじまります。指定しているディレクトリの写真がスライドショー形式で連続的に表示され、スクリーンに最大化されます。16のスライドショーモードがあります。「頭出し」キーを使って選択してください。スライドショーの再生中でもそれぞれの写真に効果を設定できます。

モード　1：上からのワイプ
モード　2：下からのワイプ
モード　3：左からのワイプ
モード　4：右からのワイプ
モード　5：左上からの対角線ワイプ
モード　6：右上からの対角線ワイプ
モード　7：左下からの対角線ワイプ
モード　8：右下からの対角線ワイプ
モード　9：中央Hからの拡張
モード10：中央Vからの拡張
モード11：中央Hへの圧縮
モード12：中央Vへの圧縮
モード13：ウィンドウH
モード14：ウィンドウV
モード15：両脇から中央へのワイプランダム

好きな画像をしばらく表示したいときは一時停止キーを押します。次の画像、もしくは一つ前の画像を表示したいときは⏮またはキーを押してください。スライドショーを続ける場合は決定キーを押してください。

KodakピクチャーCDの再生

画像の回転

回転には四つのモードがあります：「逆」「鏡」「左」「右」
操作は写真がノーマル表示されている場合のみ可能で新しい写真が表示されると自動的にキャンセルされます。矢印キーで変換モードを選択できます。

上	—逆／ノーマル
下	—鏡／ノーマル
左	—左回転
右	—右回転

ピクチャースライドショーが終わると、画像は圧縮されてサムネイルサイズで表示されます。再びスライドショーを見るには⏮ボタンを押して最初のサルネイムへ戻ります。

重要：写真のサムネイルがすべて表示されてから、⏭ ボタンを押して次の12枚の画像を表示してください。決定を押すと、ショーがはじまります。

メニュー

停止しているサムネイル写真を表示するためにはメニューキーを使います。圧縮されたサムネイル写真は12枚まで表示することができます。指定しているディレクトリから次の12枚やその前の12枚の写真を表示するには⏮や⏭を使います。

注：サムネイルスクリーンではメニューをハイライトして決定するとヘルプを使うことができます。

JPEG再生

DVDプレーヤーではCD-Rに保存された写真を再生することができます。写真はJPEGファイル形式で保存されているものに限ります。JPEGに関する詳細はhttp://www.jpeg.com/をご参照ください。

JPEGファイルの再生

1. CDをディスクトレイにセットする

2. フォルダもしくはCDに保存されている写真を選択する

CDが読み込まれると、メニューがスクリーンに表示されます。上や下を押してフォルダを選択し、決定/再生を押してフォルダの内容を見ます。（下の図のように画面の右側に表示されます）

※ファイル名は半角英数のみ表示可

JPEG再生

3. 再生

▲や▼を使って画像を選び、決定/再生を押して写真を見ます。写真はスライドショー形式で表示されます。表示方法の効果は、上からのワイプ（通常モード）、下からのワイプ、左からのワイプ、右からのワイプ、右上からの対角線ワイプ、中央Hからの拡張、中央Hからの圧縮、ウィンドウHなどたくさんの形式があります。頭出しボタンでスライド形式を変更できます。

4. 画像の回転

スライドショー再生中に矢印キーを使って、画像を回転することができます。上を押すと画像を逆にできます下を押すと画像を鏡に映ったようにできます左を押すと画像を左方向に回転できます右を押すと画像を右方向に回転できます。

5. ズーム

この機能を使うと写真を50%、75%、125%、150%、200%で表示することができます。ズームボタンを押してください。スクリーンメッセージ（ズームオン）が出て、選択肢が広がります。◀◀ や ▶▶ キーを使ってズームを拡大したり、縮小したりできます。ディレクションキーを使って、ズームするところを選択してください。ズームオフを使うと写真をテレビのスクリーンに最大化することができます。

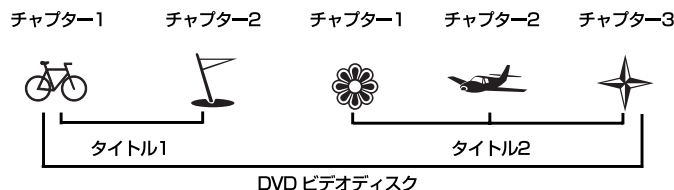
6. メニュー

再生中にメニューを押すとサムネイルメニューが表示されます。JPEGファイルのプレビューをするには再びメニューを押してJPEGフォルダに戻ってください。

自分だけの写真CD

コンピュータを使って写真をJPEGフォーマットで保存し、CD-Rディスクに焼いてください。そうするとプレーヤーで見ることができます。

好きなタイトル、チャプター、トラックに移動する

DVDディスクは通常いくつかのタイトルに分かれています。それらのタイトルはチャプターに分かれます。CDやMP3はトラックに分かれます。

タイトルメニューを使ってタイトルに移動する

DVDビデオディスクにタイトルメニューがある場合、タイトルメニュー機能を使って好きなタイトルに移動できます。

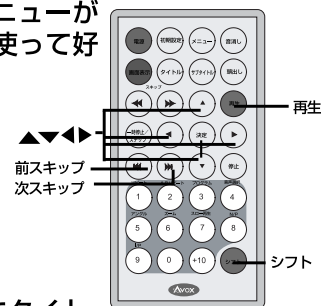
1. タイトルボタンを押す

LCDやテレビスクリーンにタイトルメニューが表示されます。

2. ▲▼ ◀▶ボタンを使って好きなタイトルを選択する

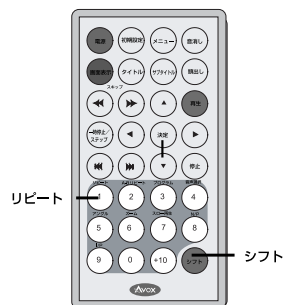
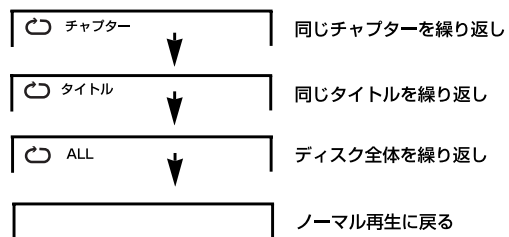
数字のボタンを使って直接好きなタイトルに移動することもできます。

3. 再生ボタンを押す

選択されたタイトルのチャプター1から再生されます。

スキップボタンを使って好きなタイトルやトラックを選ぶこともできます：
好きなタイトルが表示されるまで⏮または⏭ボタンを繰り返し押します。

本DVDビデオプレーヤーは指定したタイトル、チャプター、トラックや範囲を繰り返し再生できます。（タイトルリピート、チャプター／トラックリピート、指定リピート）

タイトル、チャプターまたはディスクを繰り返し再生するには

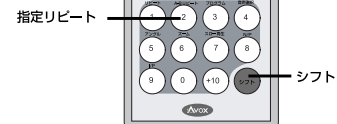
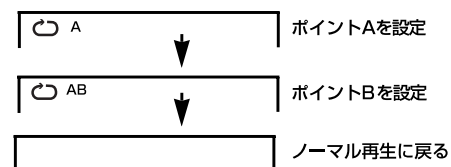
ノーマル再生中にリピートボタンを押す（シフトオンに設定して）
リピートボタンを押すたびにリピートモードが変わります。

指定した範囲を繰り返し再生するには

1. 繰り返し再生したい範囲の開始位置で指定ボタンを押す（区間繰り返し設定ポイントA）（シフトオンに設定して）

2. 指定したい範囲の終了位置で指定ボタンを押す（区間繰り返し設定ポイントB）

自動的にポイントAに戻って指定された範囲（A-B）を繰り返し再生します。

3. もう一度指定リピートボタンを押すとA-B区間繰り返し再生が解除される

ノーマル再生に戻ります。

タイトル、チャプター、トラックを好きな順番で設定するには

1. プログラムボタンを押す
   スクリーンにプログラムメニューが表示されます。

PROGRAM:TT(01)/CH (- -)

1	TT: CH:	6	TT: CH:
2	TT: CH:	7	TT: CH:
3	TT: CH:	8	TT: CH:
4	TT: CH:	9	TT: CH:
5	TT: CH:	10	TT: CH:

終了　次へ ⏭

2. 数字ボタンを使って、タイトルやチャプターを選び、好きな順番にプログラムする
   選択されたタイトルやチャプターはプログラム設定として入力されます。

PROGRAM:TT(01)/CH (- -)

1	TT: 01 CH: 01	6	TT: CH:
2	TT: CH:	7	TT: CH:
3	TT: CH:	8	TT: CH:
4	TT: CH:	9	TT: CH:
5	TT: CH:	10	TT: CH:

終了　スタート　次へ ⏭

3. スタートをハイライトして、決定を押すとプログラム再生がはじまる

4. プログラムをクリアするにはカーソルを終了に動かして、確認してから決定を押す

PROGRAM:TT(01)/CH (- -)

1	TT: CH:	6	TT: CH:
2	TT: CH:	7	TT: CH:
3	TT: CH:	8	TT: CH:
4	TT: CH:	9	TT: CH:
5	TT: CH:	10	TT: CH:

終了　スタート　次へ ⏭

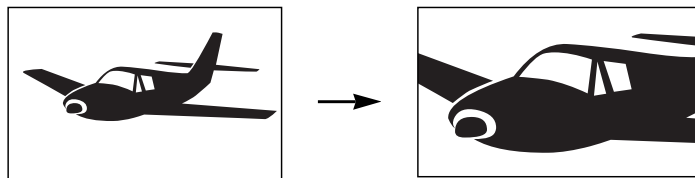
ズーム

ズーム

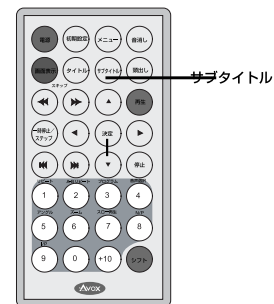
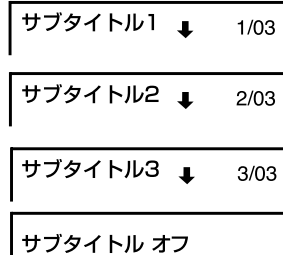
ズーム機能では写真を拡大したり、ズームしたい位置を移動することができます

ノーマル再生中またはスロー再生中にズームを押す（ズームボタンを使うときはシフトを押してシフトオンに設定する）

ズーム
シフト

写真の中央が拡大化されます。ズーム再生中に▲ ▼ ◀ ▶を押すと、ズームしたい位置を移動できます。

字幕の選択

字幕を表示するには

DVDビデオディスクに字幕が含まれる場合は、好きな字幕を選ぶことができます

字幕を消すには

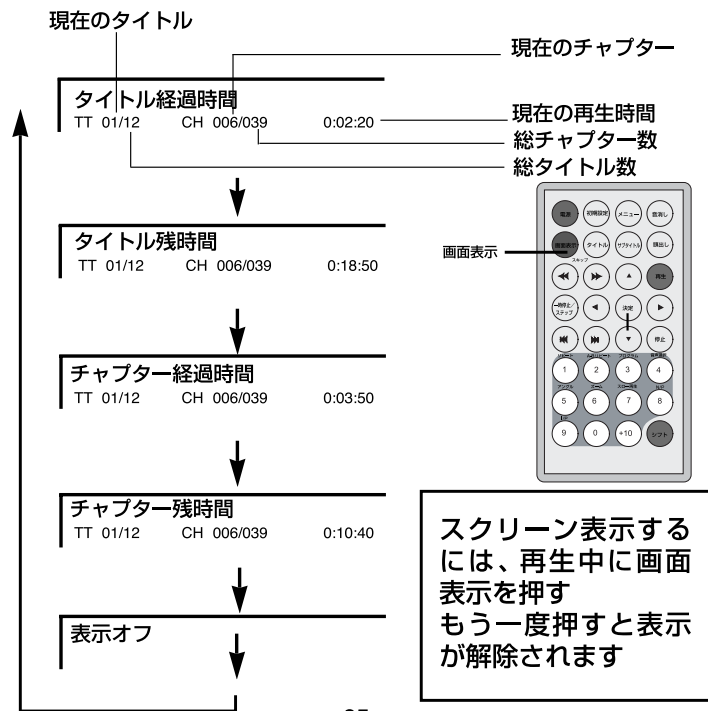
字幕再生中にオフになるまでサブタイトルボタンを押す

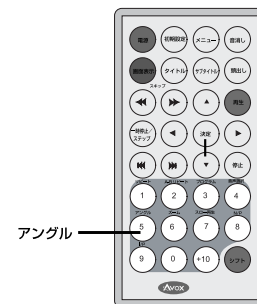
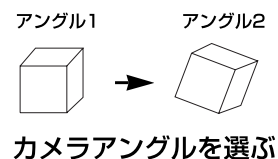
サブタイトル オフ

スクリーン表示を使う

操作状態やディスク情報をスクリーンに表示することができます。

操作状態を確認するには

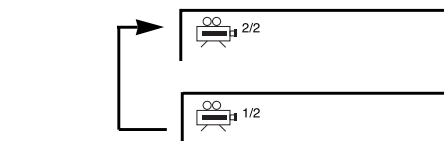
以下の項目を表示できる機能です。
—現在のタイトル
—トラック番号
—全体の再生時間

カメラアングルを選ぶ

このDVDプレーヤーではいろいろな角度からの再生を選ぶことができます。

カメラアングルを変更するには

DVDビデオディスクにマルチアングル機能がついている場合、見ている場面のカメラアングルを変更することができます。

マルチアングル機能がある場面の再生中にシフトボタンを押してからアングルボタンを押す

・アングルボタンを押すだけでアングルアイコン が画面に点滅します。
・アングルボタンを押すたびにアングルが変わります。

⚠

・マルチアングル機能がないDVDビデオディスクではこの機能は使えません。

ペアレンタルロックの設定

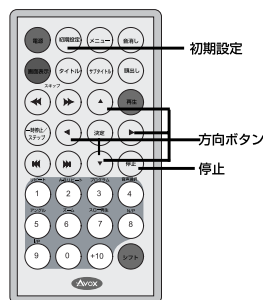
ペアレンタルロック機能がついているDVDビデオディスクでのみ使用できる機能です。

ペアレンタルロックを設定するには

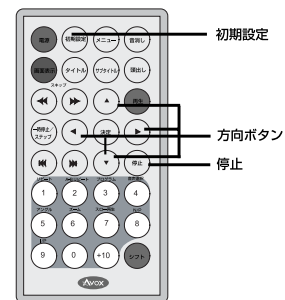
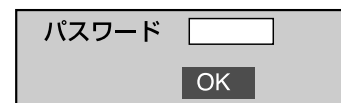
ペアレンタルロック機能がついているDVDビデオディスクはその内容に応じて段階視聴制限されています。ペアレンタルロックによる制限とDVDビデオディスクで制限する方法で、内容はディスクによってさまざまに編集できます。例えば、ディスクが対応していれば、お子様に見せたくない暴力場面を編集で消去したり、より適した場面に差し替えたり、ディスクが再生される間ずっとロックすることができます。

1. 再生中に停止を押す

2. 設定を押す
スクリーンに設定メニューが表示されます。

3. 選択画面を選択し、決定を押す

ペアレンタルロックの設定

4. ペアレンタルを選択して、決定を押す

5. 視聴制限を選択して、決定を押す

6. パスワードを入力してから決定を押す
最初に設定されているパスワード は 3308 です

7. 設定を押すと設定が完了し、決定を押すとスタートする

※パスワードは必ずメモ等に控えて下さい。パスワードを忘れますと操作出来なくなります。

パスワードの変更

1. パスワード変更するには以下の四つのステップに従います
2. 旧パスワードを入力
3. 新パスワードを入力
4. 確認のために新パスワード再入力
5. 決定を押す

バッテリーの使用とメンテナンス

注意：バッテリーの充電の際はAC電源を本体かバッテリーのどちらか一つに接続して下さい。

付属のバッテリーの性能

再生時間：約3時間
充電時間：約4.5時間
繰り返し充電：約300回

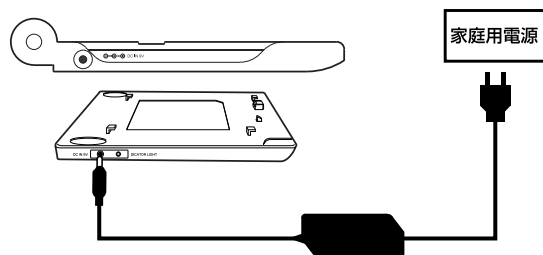
※ 但し、使用環境によって再生時間及び充電時間が異なることがあります。

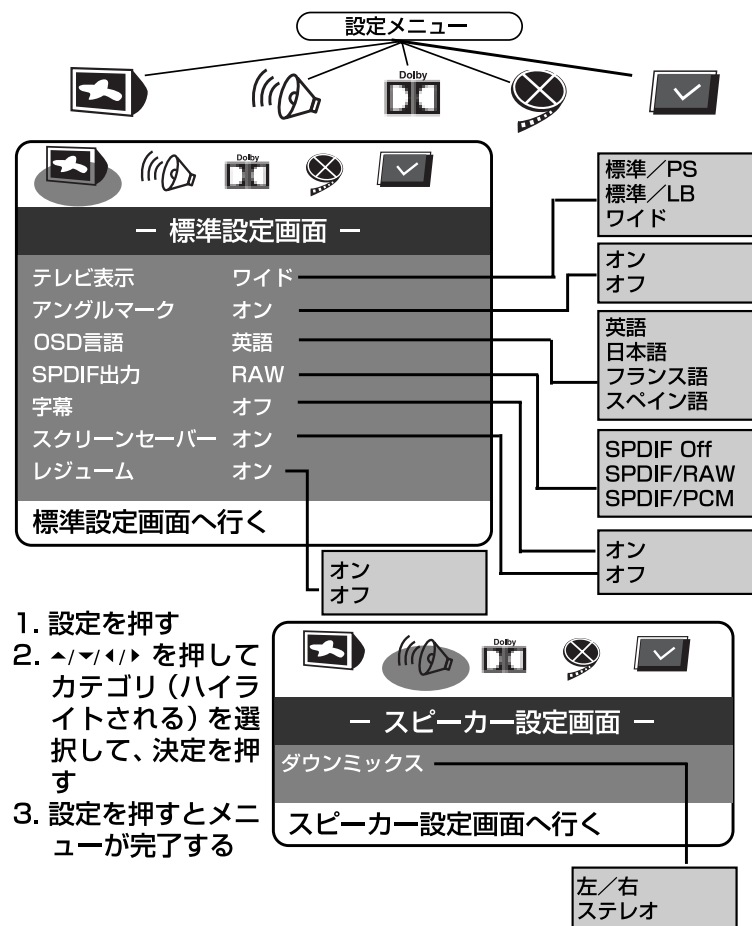
※ 消費電力はスクリーンの明るさや音量などの操作によって異なります。

バッテリーの性能を最大限引き出す為に、使い始め2～3回はフル充電、フル放電して下さい。

すでにフル充電されたバッテリーを再度充電しないでください。

金属製の入れ物に保管したり、湿度の高い場所に置き去りにしたりしないでください。保管の際には、可能であれば密閉できる入れ物に保管してください。気温が10℃以下もしくは30℃以上になるとバッテリーの性能が低下します。

重要：バッテリー充電するときは、バッテリーを本体に取り付けているときも取り外しているときもバッテリー本体にAC電源が接続されていないと充電されません。

機能設定

本品はお客様のお好みで機能をカスタマイズできます

1. 設定を押す
2. ▲/▼/◀/▶ を押してカテゴリ（ハイライトされる）を選択して、決定を押す
3. 設定を押すとメニューが完了する

機能設定

注：字幕が無い場合、オーディオとディスクメニューもありません。

トラブルシューティング

本ポータブルDVDプレーヤーで発生したトラブルについて問い合わせ前に、発生した問題の原因を以下の表でチェックしてみてください。簡単な確認またはちょっとした調節で問題が解決したり、適切な状態に回復できる場合があります。

トラブル（一般）	対策
電源が入らない。	・電源プラグを電源コンセントにしっかり差し込んでください。 ・プレーヤーの左側にある電源ON／OFFボタンがONになっているかどうかチェックしてください。 ・ACコンセントにテスト用器具を接続して電源がきているかどうチェックしてください。 ・バッテリーを充電してください。
プレーヤーの再生ボタンを押しても再生しない。	・結露が発生しています。プレーヤーが乾くまで1時間から2時間ぐらい待ってください。 ・本プレーヤーは、DVDまたはオーディオCD以外は再生しません。 ・異なったディスクを使用したため、不具合が発生していないかチェックしてください。 ・地域（リージョン）コードをチェックしてください。 ・ディスクが逆さまになってトレイに入っている可能性があります。
再生を始めるが、すぐに停止する。	・ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいに掃除してください。 ・ディスクがラベル面を上にして挿入されているかどうか確認してください。
画像が表示されません。	・機器が正しく接続されているかどうか確認してください。 ・テレビの入力設定が"ビデオ"になっているかどうか確認してください。 ・外部機器の電源がONになっているかどうかチェックしてください。 ・テレビの入力切替を正しく選択してください。 ・LCDの電源がONになっているかどうかチェックしてください。
音声が出ない。	・機器が正しく接続されているかどうか、およびオーディオジャックにしっかり接続されているかどうか確認してください。 ・HiFiアンプを使用している場合は、違うサウンドソースを使用してみてください。 ・オーディオ出力設定メニューをチェックして、アナログ出力が選択されているかどうか確認してください。 ・ボリュームを調整してみてください。
サウンドが歪む。	・テレビおよびステレオシステムの入力設定が適切であるかどうか確認してください。 ・静止画（一時停止）中、音声は出力されません。

トラブルシューティング

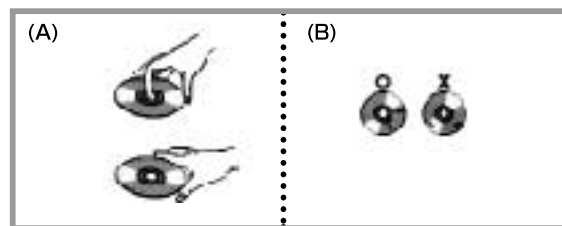
トラブル（一般）	対策
画像が歪む。	・ディスクに指紋がついていないかチェックし、柔らかい布を使用してディスクの中央から外側に向けて拭いてきれいにしてください。 ・時々少量の画像歪みが現れることがあります。これは故障ではありません。
早送りまたは巻き戻し中に画像が歪む。	・早送りや巻き戻しをすると通常画像が歪みます。
早送り（巻き戻し）再生ができない。	・一部のディスクには、早送り（巻き戻し）を禁止する部分を持つものがあります。
サブタイトルがでない。	・サブタイトルを持つディスクのみサブタイトルが表示されます。 ・サブタイトルが非表示になっています。（説明は18ページにあります）
リモコンで操作ができない。	・バッテリーが正しい極性（＋）と（－）で入っているかどうかチェックしてください。 ・バッテリーが劣化しています。新しいバッテリーに交換してください。 ・リモコンをリモコン信号センサー向けて操作してください。 ・リモコン信号センサーから3メートル以内の距離でリモコンを操作してください。 ・リモコンとリモコン信号センサーの間にあるじゃまな物体を除去してください。
キー操作（DVDプレーヤーの電源およびリモコン）ができない。	・本体の電源をOFFにしてからONに切り替えてみてください。あるいは本体の電源をOFFにして、AC電源Cヨドをはずして再度接続してみてください。（プレーヤーは落雷、静電気またはそれ以外の外的要因で適切に動作しなくなる場合があります）
タイトルを選択してPLAYを押しても再生が実行されない。	・これはペアレンタルロックが設定され、ペアレンタルロック機能が働いているからです。セットアップメニューでペアレンタル設定を確認してください。
オーディオサウンドトラックおよびサブタイトル言語が初期設定で選択された言語でない。	・ディスクにオーディオサウンドトラックおよびサブタイトル言語が存在しないと、初期設定で選択した言語は視聴できません。
代替オーディオサウンドトラック（またはサブタイトル）言語が選択できない。	・使用できる言語がその言語以外存在しないと代替言語を選択できません。
アングル表示ができない。	・この機能は、ソフトウェアによります。多数のアングルが保存されていても、すべてのアングルが有効にならず、特定のシーンのみ有効になる場合があります。
ペアレンタルロックのパスワードを忘れた。	・最優先パスワードの3308を入力してください。
バッテリーを電源に接続しても、バッテリー充電インジケータがONにならない。	・バッテリーパックを電源からはずして30秒間そのままにします。再度、バッテリーパックを電源に接続してください。

ディスクの扱い方とメンテナンス

扱い方の注意

・指紋をつけないようにディスクの外側に指を当ててつかんでください。（A参照）
　指紋、よごれ、キズは音声や画像の飛び越しやひずみの原因になります。
・ボールペンやその他の筆記具を使用してラベル面に文字などを書かないでください。
・レコードクリーニングスプレイ、ベンジン、シンナー、静電気防止液、その他の溶剤を使用しないでください。
・ディスクを落としたり、曲げたりしないように気をつけてください。
・ディスクトレイに1枚以上ディスクを入れないでください。
・DVDをトレイに適切に置いたとき以外ディスクカバーを閉めないでください。
・ディスクを使用しない場合は、必ず専用のケースに入れて保管してください。

表面が汚れた場合（B参照）

柔らかい布を湿らせて（水のみ）やさしく拭きます。
ディスクを拭くときは、ディスクの中央の穴から外側に向かって布を動かします。
（円を描くように拭くと、円状のキズができる可能性があります。ノイズの原因になります。）

寒いところから暖かいところにディスクを移動するとディスク上に水滴ができます。
ディスクを使用する前に、乾いた柔らかい布でこの水滴を拭き取ってください。

ディスクを保管してはならない場所

ディスクを以下の場所に保管するとディスクにダメージを与えます。
・直射日光が射す場所
・湿度が高い場所または汚い場所
・暑い排気口や熱器具に直接さらされるような場所

メンテナンス

・AC電源コーをはずすときは必ず本体の電源をOFFにしてください。
・必ず乾いた柔らかい布で拭いてください。ディスク表面がかなり汚れているときは、石鹸水に浸して、固く絞った布できれいにします。そのあと乾いた布で再度拭きます。
・アルコール、ベンジン、シンナー、クリーニング液、その他化学品は絶対に使用しないでください。また、ほこりを取るために圧縮空気も使用しないでください。

用語の定義

アングル

これは特別な編集が施されたディスクに保存されています。同一シーンを同時に多数の異なったアングルから撮影されたシーンをいいます（同じシーンを前面から、左側から、右側から撮影したものです）。そのようなディスクを再生しているときにANGLEボタンを押すとそのシーンを異なったアングルから再生できます。

チャプター番号

これらの番号は、DVDディスクに保存されています。1つのタイトルが多数のセクションに再分割されるとそれぞれに番号がつけられます。これらの番号を使用するとビデオの特定の部分を素早く検索できます。

DVD

デジタル信号を用いて、高品質画像および高品質音声を保存した高密度光ディスクをいいます。新しいビデオ圧縮技術（MPEG II）と高密度録画技術を取り入れているために、DVDは美しいフルモーション映像を長時間録画できます（例えば、1本の映画を丸々録画できます）。

DVDは、0.6 mmの薄さのディスクを2枚貼り合わせたディスクです。2枚の薄いディスクが貼り合わせてあるため、再生時間をさらに長くできる両面再生が将来できるようになる可能性があります。

サブタイトル

字幕のことで、画面の下部に表示されます。これはDVDディスクに保存されています。

時刻表示

これはディスクやタイトルの開始時から経過した再生時間を表示するものです。特定のシーンを素早く見つけるために使用します。（一部のディスクでは使用できないものもあります）

タイトル番号

これらの番号はDVDディスクに保存されています。ディスクに2本以上の映画がある場合にタイトル1、タイトル2と番号が付けられます。

トラック番号

これはオーディオCDに保存されたトラックに割り付けられた番号のことです。これを使用すると素早く指定のトラックに移動できます。

仕様

ポータブルDVDビデオプレーヤー

電源	100V －240V、50/60Hz
消費電力	11W
重量	1.5kg（本体のみの重量）
外寸法	230×180×28.5mm（幅／高さ／奥行き）
レーザー	半導体レーザー

出力

ビデオ出力	1.0V（p-p）、75Ω
オーディオ出力（デジタル出力）	0.75V（p-p）、75Ω
オーディオ出力（アナログ出力）	2.0 V（rms）、10KΩ

再生可能メディア

DVD-VIDEO	CD ※1	CD-R/RW ※2 音楽用フォーマット・ビデオCDフォーマット PEGファイル
VIDEO CD	DVD-R/RW ※2	
SVCD	DVD+R/RW ※2	Kodak Picture CD
WMA ※3	MP3	

※1 コンパクトディスク（CD）規格に準拠していない著作権保護技術付き音楽ディスクは動作・音質を保証できません。

※2 DVD-R/RW、CD-R/RW、DVD+R/RWは記録状態・記録条件によっては再生できない場合があります。
また、スピード再生、サーチ機能など通常再生以外の動作ができない場合があります。
（DVDビデオディスクを作る時は、ビデオフォーマットを選択し、最後にファイナライズ処理を行ってください。）

※3 著作権保護情報が書き込まれているWMAファイルは再生できません。